

1. 素核研安全グループの 2016 年前半の活動

昨年に引き続き、《安全意識の向上・浸透》および《安全で快適な実験室環境の整備・構築》を目指して、日々地道な活動をしております。今年前半の主要な活動は以下の通りです。

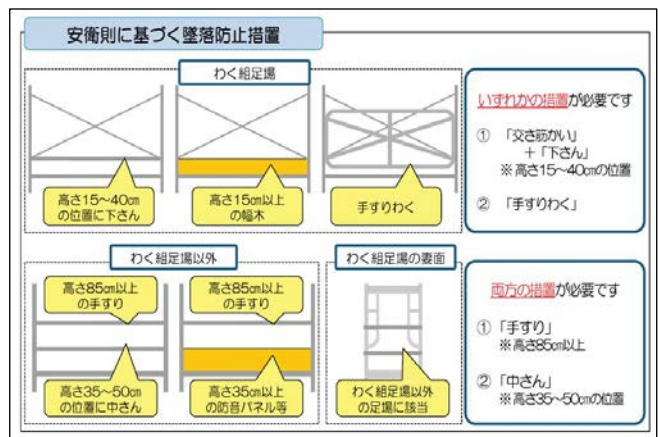
(1) 安全講習会『足場からの墜落・転落災害防止について』の開催

2016 年 2 月 18 日、労働安全コンサルタントの佐々木哲美氏にお願いし、安全講習会『足場からの墜落・転落災害防止について』を開催しました。つくばキャンパスおよび東海キャンパスを合わせて約 43 名の参加がありました。

足場に関する最新の法令改正を始め、災害事例を交えた講義により、参加者一同、足場の規則および高所作業の危険性を改めて認識できたものと思います。



安全講習会の開催風景



最新の足場規則改正の抜粋(H27 改正)

(2) 高圧ガスボンベ管理システムの導入

安全グループでは、現在高圧ガスボンベを管理するシステムの導入を進めています。このシステムは、実験室へ搬入および搬出される高圧ガスボンベ(主に直径 25cm 高さ 150cm)の 1 本 1 本を登録し、容器番号・ガス名・圧力・内容積・搬入日・搬出日・使用者名等をデータベース化する事により、「①ガス種、数量、使用者等の帳簿を簡易に作成する。」「②1箇所の高圧ガス総容量をモニターする。」「③ボンベの一定期間での返却を計画的に推進する。」等を容易に実施可能にするものです。

具体的には、素粒子原子核研究所が管轄する「筑波実験棟」「富士実験棟」「北カウンターホール(含、泡箱実験室)」および「先端計測棟」等へ新たに搬入する全ての高圧ガスボンベは、管理システムを運用する筑波実験棟受付で登録されます。実際



には、搬入時の伝票を基に、バーコード登録システムにより登録は短時間で行えます。搬出する高

圧ガスボンベについても引取り伝票を基に登録抹消されます。2016年10月運用開始を目指しており、運用と同時に、機構内に既に在る素核研所管の高圧ガスボンベをシステムへ登録する作業を開始する予定です。

当面、素核研が扱う高圧ガスボンベのみを対象とし、システムの運用・改良を進め、安定的な管理システムの運用を確立し、将来つくばキャンパス全体へ展開していきたいと考えています。

### (3) 避難経路の創出と明示

素核研内実験室のなかには、機器・物品が溢れ、避難経路が不明確で十分確保されていない実験室も見られます。そこで、昨年度末、先端計測開発棟大実験室において、災害時の避難を安全かつ確実に実行するため、中央の避難経路および非常口へ通じる経路を明示する試みを実施しました。その結果、不要な物品を避難路上に放置しないだけでなく、実験室全体を整理・整頓する意識が高まったものと感じます。今後は他の実験室へも同様の展開をしていきたいと考えています。



通路に物品が置かれ幅が十分に確保されていない。  
(避難経路明示の作業中)



避難経路明示後の状況

### (4) 安全体感教育への参加とつくばキャンパスでの実施検討

5月25日にいわき市の(株)クレハで行われた、J-PARC主催の安全体感教育に参加しました。

この体感教育は、危険な事象を実際に疑似体感することにより、様々な危険を認識し、安全意識を高める目的で行われ、《安全带衝撃》、《吊荷落下危険》、《高電圧接近危険》等10項目以上の体験をしました。

今後、つくばキャンパスの職員を対象にした同様の教育を企画していきたいと考えています。(今年度の安全衛生週間の最終日11/4に筑西市で第1回目を実施予定)



安全带ぶら下がり体験の様子

(5) 一般安全教育資料(英語版)の編集

つくばキャンパスでの外国人共同利用者のための安全教育をより充実させるため、2016年3月、英語版の一般安全教育資料を作成しました。

これは、既にJ-PARCで使用されている資料をつくばキャンパス用に一部追加・変更し再編集したものです。資料をご提供頂いたJ-PARC安全ディビジョンの方に感謝致します。



## 2. 今後の活動予定

2016年度後半は上記(2)高圧ガスボンベ管理システムの導入を中心に、主として下記のような活動をしてまいりますので、皆様の益々のご理解とご協力をお願い致します。

安全管理上、何か相談事があれば安全グループに声を掛けて下さい。微力ながら、可能な限りお手伝いさせていただきます。

- (1) 高圧ガスボンベ管理システムの導入(2016年10月運用開始予定)
- (2) 素核研安全グループHPの立上げ
  - 各種安全巡視結果の発信、安全管理体制等の掲載、ヒアリハットの水平展開 etc.
- (3) 整理・整頓月間の推進(2016年11月)
- (4) 安全講習会の開催(テーマ選定中)
- (5) 避難経路の創出と明示(実験室の選定中)